



# 関中央ロータリークラブ

## 2017-2018 WEEKLY REPORT

**例会日** 毎週木曜日 18時30分

**例会場** 関観光ホテル（関市池尻91-2）

**事務局** 関市西本郷通5-2-53 TEL(0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

**会長** 波多野 好文 **副会長** 佐藤 忍 **幹事** 長谷川 修 **クラブ会報委員長** 大藪 太

2017～2018年度国際ロータリー

イアン H.S. ライズリー会長



2017～2018年度関中央ロータリークラブ会長テーマ

### 「親睦からのロータリー」

本日のプログラム 第1931回例会 2018年3月1日（木）

卓話 岐阜県文化財保護協会 理事・関支部長 後藤 章 様

テーマ 「織田信長の東美濃攻略」 / 担当 雑誌・広報委員会

#### 前例会の記録

第1930回 2018年2月15日（木）

会員卓話 吉田和也会員

テーマ「リトアニアボランティアの報告」

/担当 インターアクト委員会

\*ロータリーソング「それでこそロータリー」 斉唱

\*会長あいさつ 波多野好文会長

皆さんこんばんは、先日の日曜日、11日には、ある県会議員の日帰り旅行で、京都へ行ってきました。関中央ロータリークラブの方も参加されているのをみました、大変ご苦勞様でした。最初に、伏見稲荷大社へ行きました、伏見稲荷大社は全国におよそ3万ある稲荷大社の総本山で創建が和銅年間（708年～715年）と言われる、由緒ある神社です。参拝者の数はなんと全国4位だそうです。本殿に参拝後、本殿の裏にある千本鳥居に行きましたが、ここは外国人の見るべき日本の風景又は行ってみたい風景の1位になっています、そのせいか、やたら外国の人が多く、渋滞していました。日本人の



私でも、あの朱色の鳥居は荘厳な雰囲気になるのですが、途中で自撮りとかしている人がいて、なかなか進まず、時間切れで帰ってきました。人が多くとても荘厳な雰囲気は味わえませんでした。又余談ですが、鳥居の修理とか取替えはいつやるのでしょうか、夜中でしょうか、疑問がわきました。その後、嵐山や清水寺へ行きましたが、日曜日のせいか、どこもごった返していました。もちろんこの2つの名所もかなりの数の外国人の方で、とくに東南アジア系の人が多かったです。中国はもう春節の休みに入っているのでしょうか。国内の消費が落ち込む中、外国人の消費は本当にありがたいことだと思います。そういえば先日テレビでやっていましたが、下呂の老舗旅館の宿泊客の8割が外国人だそうです。これから東京オリンピックに向けて、どんどん外国人の旅行客が増えていくのでしょうか。大変ありがたい事だと思いますが。皆様はどうお思いでしょうか。

話題を変えたいと思います。長寿の話ですが、皆さん県別でどこの県が一番長寿かご存知でしょうか。男性は滋賀県で81.78歳以下、長野・京都・奈良の

順です。女性は長野県で87.67歳、以下、岡山・島根・滋賀の順です。滋賀と長野は男女両方とも上位にランクされていて長寿県と言えます。ちなみにわが岐阜県は男性が14位で81.00歳、女性が34位で86.82歳です。最下位は男女共青森県です。ではどうして差が出来るのでしょうか。実を言うと長野県は昭和40年度まではあまり長寿県でなく、脳卒中の死亡率は全国1位でした。県民の塩分を取らない努力の結果そうなったようです。みそ汁は1日1杯しか飲んではいけないそうです。今日は例会食でみそ汁が出るので2杯目の人は飲まないようにしてください。あと特に気になるのが、男女の差です。平均寿命は男性80.75歳女性86.99歳で6歳以上も女性が長いのです。この結果で行くと必ずしもではありませんが、夫婦では女性の方が生き残るという事になります。なぜ女性の方が長生きかという、男性の方が危険な仕事をするのが理由だと思いましたが、どうもそうではないようです。①女性ホルモンのエストロゲンが血圧を下げたり、悪玉コレステロールの血中濃度を下げる。②基礎代謝量が女性の方が少なく、少ないエネルギーで生きていける。環境の変化に適応しやすい。③健康の意識が女性の方が高い。が挙げられるそうです。皆様も健康に注意して、長生きしていただき、昨年7月に105歳で亡くなられた、東京銀座新ロータリークラブの日野原重明さんを抜かすような最高齢ロータリアンを目指してください。

#### \*会員卓話 吉田和也会員

##### テーマ

##### 「リトアニアボランティアの報告」

今回、塗魂インターナショナルのボランティア活動で、9月3日～9

日までの間、リトアニアのカウナス市にあります、旧日本領事館杉原千畝ハウス塗り替えのボランティアに行ってきた事を、お話をさせていただきます。まず、塗魂ペインターズという団体の紹介ですが、以前の卓話で大野さんにお話しいただきましたので、細かな説明は省かせて頂きますが、キャッチフレーズといたしまして「塗装でできる社会貢献」とし、人に愛され、地元で愛され、社会に愛される塗装店、塗



装のプロフェッショナルとしての技術を社会に還元する塗装ボランティア団体を目指しております。2010年に設立され、主に塗装業者を会員とし、現在、北は北海道から南は沖縄まで全国160社から成る団体です。材料・資材等の供給は、様々な塗料メーカー、資材メーカー様より協賛頂いており、現在、国内93カ所のボランティア活動をさせて頂いております。その様な団体から、兄弟組織として、海外の自国での修繕が難しい物件をボランティアしようという考えの基、塗魂インターナショナルという団体が立ち上がりました。現在、ハワイ、ベトナム、そして今回のリトアニアで計7カ所のボランティアをさせて頂いております。

##### ○ボランティアをすることになったきっかけ

私は、今回リトアニアのボランティアに参加させて頂きましたが、なぜリトアニア杉原千畝ハウスをボランティアする事になったかと申しますと、一昨年1月に杉原ハウスがボロボロで困っているという新聞記事が、塗魂インターナショナルの事務局長の池田大平さんの目に留まりました。杉原千畝といえば、ナチスドイツのユダヤ人迫害という残虐な出来事から本国の方針に背き、多くの命を人道的行為によって救った岐阜県八百津出身の外交官。その東洋のシンドラー杉原千畝が命のビザを書き続けた、執務室のあるリトアニア、カウナス市の旧日本領事館が、雨漏れするなど老朽化が進みこのままでは、取り壊しの危機を迎えるような状況になってしまっておりまして。命のビザ発行という、杉原千畝の功績を、未来の子供に語り継ぐ、大切な建物を残していくという事は、私達今現在生きている、大人たちにとって重要な役目です。その役目を果たすべく、塗魂インターナショナルが立ち上がりました。彼は単身リトアニアに出向き、現地調査をし、ボランティアさせてもらうよう、現地の行政の方々と交渉しました。そのような中、重枝リトアニア大使、カイナース副市長等の協力を取り付けて、今回のボランティアを実現させました。説得交渉はカイナース副市長来日の際、歓迎式典を催したり、重枝リトアニア大使が来日の際、皆で集まりお話をさせて頂いたりしました。

杉原千敏ハウスの老朽化1



### ○クラウドファンディングについて

現地調査の結果、外壁の痛みはもちろんの事、屋根の老朽化もひどいものでしたので、屋根瓦も明らかに修繕工事が必要な状態です。しかしながら我々はペンキ屋、壁の修繕はできても、屋根瓦の修繕はできません。壁だけ修繕しても、屋根がボロボロなら完全な修繕とはなりません。そこで建物全体の修繕をする覚悟をしました。屋根工事は地元の業者に依頼し、その費用をインターネットで賛同を得て資金を募るクラウドファンディングによって捻出する事にし、2017年6月5日～7月31日までの間に3,985,000円を148人の方からご支援いただきまして、屋根工事、仮設工事、下地処理工事の費用に充て塗装工事に入ることができました。

### クラウドファンディング



### ○行程

そしていよいよ9月3日～9月9日までのリトアニア渡航となりました。

私は中部国際空港発着組として参加しました。その

他に、成田空港、関西国際空港、福岡空港と計4カ所から合計約60名がこのプロジェクトに参加しました。セントレアを10時30分に出港し、途中乗り換えのフィンランド、ヘルシンキまで約10時間かかり、そこからリトアニアの首都ヴリニユスまで1時間30分位、又飛行機に乗り、ヴリニユスから目的地のカウナス市まで、バスで1時間ゆられ、やっと到着しました。私は、こんなに長く飛行機に乗ったことはありませんので、本当に疲れました。ヴリニユスの空港では、私達の仲間の塗魂ペインターズの所でホームステイをし、塗装の作業を経験し、日本観光をしたカウテック職業訓練校の学生も出迎えてくれました。彼らは、杉原ハウスの作業も1日、実習として手伝ってくれました。(日本人の方が器用かも?) ホテルには8時位に到着し、この日は夕食を食べて、就寝しました。ちなみに時差は7時間で、日本の朝8時はリトアニアの夜中の1時となり仕事の朝一の電話が、そのころよく入りあまり深く眠れませんでした。

### ○作業

そしていよいよ4日月曜日より作業の段取りに入ります。何より気になっていたのが、天気でした。あいにくこの週は天気が悪く雨予報となっており、私共の段取りでは、天気が良い日を狙って一気に仕上げたおもうと考えでおりましたが、現地にて材料手配の打ち合わせをして頂いたプラネットジャパンの平尾社長より材料の説明を受けた時には完成できるかとても不安になりました。(どうして、その様な大事な事を事前に知らせてくれなかったのかと思いましたが)この材料の仕様は4工程あり、1日1工程しか施工できないという事ですので、しっかり天気の良い日が4日間必要でした。限られた滞在日数5日間の中で4日間、作業日数が必要ですので雨に降られたら作業が完了できない事態も想定されます。途中雨が降ってきても、作業ができるようビニールシートで庇を作り壁に雨が当たらない様にしての作業となりました。そこで、現地で足りない物を、ホームセンターで買い出しするために、仲間がタクシーで向かいました。その時の出来事ですが、買い物をして、帰りのタクシーが捕まらず困っていた所、

リトアニア人の老夫婦が、「ユー杉原ハウス」と声をかけてくださり、現場まで乗せて行っていただけという事がありました。異国の地で、知らない外国人の車に乗り本人は最初怖かったと言っておりましたが、大変親切にして頂けたそうです。リトアニアの方々は、大変日本人に親切にしてくれて、私もスーパーで買い物をしていた際、紅茶を買おうとして何を買って良いか分からず、迷っていた所勇気を出して、片言の英語で買い物客に質問したところ、とても親切に選んでくれたという出来事もありました。やはり、杉原千畝さんの功績は偉大だなとつくづく感じました。

さて、話を戻しまして、使用する材料ですが、シリカットファルベという、特殊な漆喰で何百年も前から、ヨーロッパで使用されている漆喰です。近年ヨーロッパにおける教会や重要文化財に頻繁に使用されている塗料で、ドイツのマイスターによって、復元物件で使用されています。やはり、杉原ハウスは現地においても重要文化財の建物でヨーロッパは古い建物が多く、その景観を乱さない、又杉原ハウスは築75年位経っており、その当時に近い材料を現地の建築家とプラネットジャパンの打ち合わせで決定されたようです。現地打ち合わせは、プラネットジャパンの平尾社長が、何度もリトアニアまで足をお運び頂き、又プラネットジャパンはドイツの自然塗料を扱っており、ドイツに現地法人もあるようで、その社員の方も打ち合わせをして頂いたとの事です。また、どうしても、このドイツの塗料を使いたかった、という理由もありまして、当時ホロコーストとしてユダヤ人虐殺を行っていたのは、ドイツナチスヒトラーです。このドイツ法人は今回、杉原ハウスの修繕にこの塗料を使ってもらう事によって、その当時の償いをしたいという熱い思いがあり、その熱意を平尾社長が涙ながらに伝えてくださり、私達もしっかりと塗らなければと気合も入りました。

1日目の作業は現地の職人さんが事前に作ってくれた下地が、大変アルカリが強いとの事で、それを酸性の液体を塗って中和させ、上塗の剥離を防止する、といった工程でした。多分日本で昔あったセメントリシンのような物が吹付けしてあったように思

いました。又、この日に着工セレモニーもあり、カウナス市の役人の方々や、重枝リトアニア大使、杉原さんの孫娘さん等も参加されて、大変立派な着工セレモニーでした。

2日目の作業は、グラスワッサーというガラス成分の入ったプライマーを塗りました。これはローラーで施工でき何も特別なものではありませんでした。又、この日は併行して、ドブチビチュス中学校の教室天井、壁塗り替えのボランティアも計画されておりましたので、午後からはこちらの方の作業に入りました。

3日目は上塗1回目です。先ほど紹介しました、特殊な漆喰を上塗する訳ですが、この塗料が大変厄介な物でして、施工方法が塗料の性質上ローラーで塗る事ができず、約450㎡ある壁をすべて刷毛で塗らなければならない、又その塗り方も普通に一方向に塗るのでは無く、わざとランダムに塗って微妙な刷毛ムラを作りながら塗っていくというものでした。日本での実績は無く、ヨーロッパにおいてもマイスターという政府の認定を受けた人しか塗る事の出来ない塗料でした。皆で知恵を出し合い、材料の混ぜ方、刷毛も2個を重ねて塗料の含みを良くし、なるべくたくさん1刷毛で塗れるよう工夫をし、刷毛の動かし方もみなで統一し同じ塗り面となるように揃え、非常に塗りつぎができやすいとの事でしたので、皆で並んでスパン事に塗って降りるようにして色々と考えて塗りました。現場責任者の大野さんも、総勢60名ほどの参加人数の中、本当に現場で作業できる人はあまりたくさんおらず、昔は職人だったけど今は全然刷毛を持った事がない人や、協賛メーカーの方という中で、大変悩まれ作業の段取りをされておりました。私もそんな事だろうと思い、作業を完了できるように、大野さんを助けるという思いがあった事も、このボランティアに参加した理由の1つです。

そして4日目最終日、上塗2回目ですが、この日は前日と同じ作業でしたので、無難にこなす事ができました。心配していた雨も幸いにも少々は降りましたが、上塗1回目、2回目の時には、何とか持ってくれて、時々晴れ間ものぞくといった天気の中で無

事に完成できました。上塗2回目の試し塗りをした際、リトアニアの建築士の方が仕上がり状況をご覧になり、「本当にお前らで塗れるのか?」というような事を言われましたが、この時点では私が思うに、現地は湿度が高く、塗った塗料も、天然の漆喰という事もあり乾きのムラが出ていただけだと思います。やはりドライヤーで乾かせば、均一な状態になりました。まあ、そんな事も言われましたが、最終的に完成した時には「ジャパニーズペインター グレイト」と言って頂きキレイに仕上げる事ができて、良かったです。

5日目は、作業も無事に完了でき、クシュキピス市という所に観光に行きました。リトアニアの街並みは本当に綺麗で御洒落な感じでした。森林等の自然も、大変美しく、音楽等の芸術もとても盛んな印象を受けました。

6日目は帰国という事で、朝ホテルを出発しひたすら帰国の帰路につきました。

#### ○スギハラウィーク

同時期、9月2日～8日の日程でスギハラウィークという催しも、カウナス市で開催され、音楽コンサートや剣道、茶道、凧揚げ大会、和太鼓の演奏等の催しも開催されており、塗装作業をしない方は文化交流班として、これらの催しに参加されました。6日の水曜日には、古田知事もお見えになり、講演を行った後、杉原ハウスの作業現場にもお越しください、ご挨拶させて頂きました。その時に新聞記者の方もお見えになり取材を受けました。

又、これも貴重な体験をさせて頂いた事です、7日の木曜日、作業が完了した後、ヴリニユスの大使館で夕食を頂いた事です。杉原千畝さんがカウナスを離れる時、汽車の中で最後まで命のビザを書き続けたのと同じくカウナスの駅から電車に乗って行きました。重枝リトアニア大使の御心遣いで、私共塗魂ペインターズと和太鼓の演奏者の方を大使公邸にお招きいただき、公邸料理人のおもてなしを頂きました。おもてなしを頂くばかりでは申し訳ないと思い、皆がそれぞれのご当地のお酒を持参しようという事で、私は、山水渡風という杉原さんの故郷八百津の地酒を献上させて頂きました。本当に、重枝リ

トアニア大使、奥様と車座になりザックバランに大使公邸で公邸料理人の料理を頂きながら酌み交わすことができ、良い経験ができました。

#### ○ドブチビチユス中学校ボランティア

杉原千畝ボランティアと並行してカウナス市ドブチビチユス中学校の教室の内部天井、壁ガイナ塗のボランティアも行いました。ガイナに関しましては、ロケットの先端内部に塗られている材料で、断熱、保温、遮熱、防音、結露防止、空気質改善等様々な性能を持ち合わせた塗料です。ここでも下地処理までの作業を用務員の女性が、施工して頂いたとの事でしたが、壁すべてをパテしごきしてある下地で本当に女性の用務員の方がここまでの下地処理をしたのかと、私本当に感動いたしました。やはりヨーロッパの方々は自分で塗装するという習慣が根付いているのだなとつくづく思いました。ここでは1日目は5日杉原ハウスでプライマーを塗り終わった後、午後から、皆で養生・下塗りをして、2日目は杉原ハウス班と別れて作業しました。この学校は、スギハラウィークの凧揚げ会場となっており、生徒が作った凧もたくさん展示されておりました。

ドブチビチユス中学校ボランティア



最後に、ナチスドイツのユダヤ人迫害という、残虐な出来事から本国の方針に背き、多くの命を人道的行為によって救った、杉原千畝氏が、命のビザを発行し続けた旧日本領事館、当時の出来事を未来の子供たちに語り継ぐ大切な建物を残していくという、とても素晴らしい、歴史的なプロジェクトに参加する事ができ、私のペンキ屋人生において大変名誉なことでありました。このプロジェクトに参加する事

に協力して頂いた、お仕事を頂いている方々、又留守の間仕事をこなしてくれた職人さん達、そして何よりも私がない間、仕事、家庭を守ってくれた妻に感謝申し上げて、私の話を終わらせて頂きたいと思います。ご清聴ありがとうございました。



#### \*出席委員会

会員数 31 名、本日の出席 19 名です。

#### \*ニコボックス委員会

##### ・会長・副会長・幹事

本日の吉田和也会員のリトアニアボランティアの活動報告楽しみにしております。よろしくお願ひします。

##### ・吉田和也君

本日は卓話させていただきます。皆様よろしくお願ひ致します。

##### ・山田文夫君

今日は 75 回目の誕生日です。

##### ・喜久生明男君

2 月 11 日（日）せきスポーツクラブ主催の「岐阜県玉入れ大会」に参加しました。来年は皆様の参加をお待ちします。

昨日パイロットの長男がジェットスターに転職し、エアバス A320 の免許が取れました。ホッとしました。

##### ・広瀬恒行君

吉田さんのリトアニアの話楽しみにしています。

##### ・高井良祐君

吉田和也会員の卓話 楽しみです。

##### ・小澤重忠君

吉田和也会員 リトアニアボランティアご苦労さまでした。

19 名のご投函ありがとうございました。

#### <次例会の案内>

第 1932 回 2018 年 3 月 8 日（木）

「親睦例会」 担当：親睦活動委員会